

会議名	第5回印西市緑の基本計画検討委員会	
開催日時	令和3年3月1日（月）発送 令和3年3月12日（金）書面議決書兼意見書回収完了	
開催場所	書面開催	
出席者	委員	阿部伸太委員長、富塚副委員長、安田博道委員、勝正弘委員、鈴木康雄委員、川合秀和委員、清水眞市委員、山口道博委員、小山尚子委員、高橋誠委員
議題	(1) 印西市緑の基本計画 計画書（案）について (2) 提言書（案）について	
会議概要	(1) 印西市緑の基本計画 計画書（案）について 印西市緑の基本計画 計画書（案）について了承された。 (2) 提言書（案）について 提言書（案）について了承された。	
審議経過	<p>(1) 印西市緑の基本計画 計画書（案）について 出席委員から修正意見等があったが全員了承した。</p> <p>修正意見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・P13（8）水系・河川の図について、20の一級河川名が記載されていない。</li> <li>・資料編-8 NPO 法人亀成川を愛する会の名称を特定非営利活動法人に統一する。</li> <li>・表紙・裏表紙 表紙と裏表紙の写真説明。（裏面かわかりやすいところ、それぞれ一括して）</li> <li>・P12・13（7）①・②・③ 各生物の色の凡例が似ている色が多いので、もう少しわかりやすくしてほしい。</li> </ul> <p>その他意見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・P4 写真に住居系（古い集落、緑化が接道部になされている戸建、ニュータウンなど）があってもよいように思います。</li> <li>・P35 「守る」の中に「谷津」というキーワードが出てこなくても大丈夫ですか。キーワードを出した場合、強調しすぎな感もある気もしますが、一方で、印西の自然的・地形的・景観的特徴とも思います。（39頁の説明にはあります。）</li> <li>・今回の計画は、自然（里山・緑地）と都市機能が共存する魅力的なまちづくりを将来的に継続するため、谷津や斜面林、農地の荒廃などを把握して、市民や企業や行政が課題を解決していこうという内容となり、一見豊かに見える印西市の緑が、実は厳しい状況にあ</li> </ul>	

	<p>るといふ現状を明確にしたことは大きな一歩だと思います。</p> <p>緑地面積の確保目標については、現状の 7,124ha を将来的に維持し、保全配慮地区については、市街化調整区域を全域指定するなど、印西市の緑を守り育てようと意図が明確に定まり、とてもすばらしいと思いました。</p> <p>今回、農業や農地保護に加えて、里山の有するグリーンインフラの考え方や、SDGs、生物多様性に配慮した緑の基本計画の作成手引きの趣旨、担い手としての市民の役割と行政支援などを計画に盛り込めたことは、今後のまちづくりの方向に心強いものを感じます。</p> <p>地球環境や社会情勢が想定以上に激変する中、とりわけグリーンインフラ機能は、景観、農業の保護、防災、減災、地球環境適応策、水源涵養、生物多様性保護など様々な分野で役立つことから、住環境や企業立地には、大きな魅力となります。そのような機能を活かすまちづくりによって、成田に隣接し、首都圏にあるこの印西市は、緑あふれるふるさととしてだけでなく、SATOYAMA を世界に発信する都市として、将来の子どもたちにとって誇りとなると期待されます。</p> <p>持続可能な社会の実現に向けて、住民と企業と行政が手を携えて緑あふれるまちづくりをしていく条件や機会が今の印西にはあると思います。</p> <p>この基本計画が、行政各部署や市民、企業に広く深く浸透して、実効性あるものとして実ることを心から希望します。</p> <p>市民としてできるだけ協力をいたします。</p> <p>(3) 提言書(案)について</p> <p>出席委員から意見があったが全員了承した。</p> <p>修正意見 なし</p> <p>その他意見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・提言書の取り扱いは、提出は市長宛のみ、基本計画書に折込み、どちらなのか。</li> <li>・印西市の抱える緑の厳しい現状(とりわけ谷津の問題)や、企業立地の場合の周辺環境配慮など、追加していただいてありがとうございます。</li> </ul> <p>時間が限られて、超特急の話し合いではありましたが、前回の計画</p>
--	--

	<p>に様々な視点を追加できて、成果がありました。</p> <p>ただ、・保全配慮地区とは（農業者だけではなく、行政として、市民として）具体的にどういう配慮をするのか、・企業の周辺環境配慮モデル地区の進め方、・グリーンインフラを活かしたまちづくりのための指針の決め方など、住民の意見を取り入れる場作りや計画の実装部分まで踏み込んだ話し合いや提言ができればよかったと、そこは残念です。</p>
--	---